

第 12 回 天塩川上流減災対策協議会

取組方針のフォローアップ

(令和 7 年度までの取組と取組事例)

令和 8 年 2 月 25 日

1 令和7年度までの取組

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
1)ハード対策の主な取組												
■洪水を河川内で安全に流す対策												
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V		①流下能力が不足する地区を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施する予定	流下能力の不足している美深地区の河道掘削を実施。	流下能力の不足している天塩川美深地区の河道掘削を実施、天塩川中川地区、土別地区及び名寄川で樹木伐採を実施。	流下能力の不足している天塩川美深地区の河道掘削を実施、天塩川音威子府及び美深(楠及び美深ハンケ)地区の堤防整備を実施、天塩川美深及び土別地区で樹木伐採を実施。	流下能力の不足している天塩川美深地区の河道掘削及び樹木伐採を実施、天塩川音威子府の堤防整備及び構造物改築を実施。	流下能力の不足している天塩川美深地区の河道掘削及び中川地区の樹木伐採を実施。音威子府の堤防整備を実施。	引き続き実施	
■危機管理型ハード対策												
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V		・氾濫リスクの高い区間において、粘り強い堤防(堤防天端の舗装、堤防法尻の補強)の整備を実施。	-					完了(逐次見直し)	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備												
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A		・危機管理型水位計の水位情報や簡易型河川監視カメラ画像を確認出来る「川の水位情報」を提供 ・直轄河川の上流から下流まで連続的に、洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」を提供	①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後改良予定	今後改良予定	・市町村防災担当向けの水害リスクライン予測情報提供 ・水害リスクラインとキキクル(危険度分布)の統合	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	引き続き検討・実施
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M		・洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 ・多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置	①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定	観測機器の保守点検を実施	・雨量・水位観測機の保守点検及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	観測機器の保守点検、更新を実施。すでに設置されている危機管理型水位計について保守点検の実施及び必要に応じ更新を実施	完了(逐次見直し)
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q		・洪水に備え水防資材の調達を実施 ・水防拠点の整備に向けた設計、地元調整等を実施	①継続して実施予定	水防拠点の整備に向けて用地取得	・下川水防拠点整備中	・下川水防拠点完成に向け工事実施中	・下川水防拠点完成に向け工事実施中	・下川水防拠点完成に向け工事実施中	完了(逐次見直し)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・流域全市町村におけるタイムライン(簡易版)作成 ・タイムラインの実践やタイムラインを用いた研修等において精度向上を図る	①継続した避難勧告型タイムラインの周知や運用を行い、必要に応じて見直しを行うなど精度向上を図る	見直し検討中	・流域関係自治体と避難情報に着目した流域タイムラインを更新 ・流域関係機関と流域タイムライン案を作成 ・台風接近時に流域関係機関と危機感の共有を行うため、Web会議にて関係情報説明を実施	流域タイムラインを基に旭川開発における一連での時系列対応を整理中	今年度の見直しはなし	今年度の見直しはなし	完了 (逐次見直し)
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	・避難の切迫性が確実に伝わるよう主文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れがある地域表示を想定最大規模の洪水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付けるなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応じた洪水予報文の改良を行う予定	見直し検討中	・今後の水位超過予測によるレベル3、4の前倒し発表に対応した洪水予報文の改良(R4.6.13から運用開始)	今年度の見直しはなし	洪水予報等の情報通知様式を分かり易い表現にするために変更(変更時期は未定)	今年度の見直しはなし	引き続き検討・実施
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・緊急速報メールによる洪水予報(氾濫危険情報・氾濫発生情報発表時)の伝達							

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表 (多言語化対応含む)	F、J	・天塩川、名寄川、風連別川、剣淵川の洪水浸水想定区域図等の作成・公表 ・サンルダム完成を踏まえた見直しを実施	①必要に応じて見直しを予定	今年度の見直しは無し	・発生確率規模毎の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ(浸水深別の発生頻度マップ)を作成・公表	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	完了 (逐次見直し)
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・ハザードマップ等作成のための支援として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定	今年度の見直しは無し	・今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	今年度の見直しは無し	完了 (逐次見直し)
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・周知や利活用の促進を図るため、ハザードマップポータルサイトや地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)へ洪水浸水想定区域等データを登録	①ハザードマップの活用促進に向けて事例提供等の支援を実施予定	3Dハザードマップ案への意見収集を実施。	・今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	今後、3Dハザードマップを作成する市町村へ支援を継続	引き続き検討
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・モデル校である名寄市立中名寄小学校において、作成した指導計画に基づく防災授業を実施。 ・指導計画について、協議会内で共有。	①自治体からの意見を集約し防災教育素材を整理予定 ②小中学校で活用しやすいようにHP等で素材を共有予定	防災教育素材をHPにアップ	・作成した防災教育素材に関するアンケート調査を実施 ・アンケートから担当教諭等へヒアリングを実施 ・今後、防災教育素材やHPの改良予定	・今後、防災教育素材やHPの改良予定	今年度の見直しは無し	今年度の見直し及び実施は無し	R5年度末に防災教育支援のHPアップで完了(逐次見直し) 下記項目に統合?
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水防研修会を各自体で実施 ・名寄市内において排水ポンプ車、照明車及び排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施	①勉強会、研修会等を実施予定 ②排水ポンプ車の設置訓練などを実施予定	中川町において水防学習会を実施	水防学習会を名寄市、水防研修会を下川町、ハザードマップを用いた学習会を名寄市で実施	水防学習会を名寄市及び音威子府村、水防研修会を士別市、マイタイムライン作成支援を名寄市で実施	水防学習会を名寄市及び士別市、水防研修会を和寒町、マイタイムライン作成支援を名寄市で実施	水防学習会を名寄市及び士別市、中川町で実施。	引き続き実施
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・カヌーイベントにおいて参加者向けの広報活動を実施 ・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定	・広域防災訓練、防災セミナーでの講習会等の実施	・岩尾内ダム見学会及び湖水まつりにおいて防災に関する広報活動を実施	サンルダム管理支所で水防研修会及びマイタイムライン作成支援実施において流域治水や過去の災害に関するパネル展示を実施	・岩尾内ダム見学会及び湖水まつりにおいて防災に関する広報活動を実施 ・下川町防災研修体験会において、名寄河川事務所及び旭川市が、管理支所	・岩尾内ダム見学会及び湖水まつりにおいて防災に関する広報活動を実施 ・サンルダムにおいて見学者にダムの働き、R7年出水におけるダム防災効果等を説明	引き続き実施
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G、J	・対象外となっている地区の図面を作成し、自治体に提供	①対象外となっている地区の情報提供及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定	①対象外地区の情報共有済み ②今後、検討を支援	②検討中	検討中	検討中	今年度の対応は無し	引き続き検討

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定	豪雨災害対策研修を実施	・2市3町1村に対して重要水防箇所合同巡視を実施 ・流域タイムライン作成時に越水危険箇所等の確認を実施	・2市3町1村に対して重要水防箇所合同巡視を実施	・2市3町1村に対して重要水防箇所合同巡視を実施	・2市3町1村に対して重要水防箇所合同巡視を実施	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(主催の名寄市より依頼)	①豪雨災害対策職員研修などの支援を実施予定	豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	・豪雨災害対策職員研修をWEBで実施	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行う予定	減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において情報共有	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定	減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知	引き続き実施
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・浸水想定区域公共施設合成図(水位観測所、警察、病院、避難所等)を自治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及び避難時の課題抽出	①必要に応じて提供情報の更新を実施予定	水害リスクマップ作成	・発生確率規模毎の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ(浸水深別の発生頻度マップ)を作成・公表	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	流域全体を対象とした、内外水統合型水害リスクマップ作成にむけ、内水氾濫を対象とした水害リスクマップを作成中	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法を説明予定	減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)、豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)、豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)、豪雨災害研修及びWeb会議ツールによる危機感共有時に手順や連絡先の説明を実施	・豪雨災害研修時に手順や連絡先の説明を実施	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定	災害協定業者を対象に排水ポンプ車の操作訓練を実施	・災害協定業者を対象に排水ポンプ車の操作訓練を実施	・排水ポンプパッケージの操作訓練を実施	・排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージの操作訓練を実施	・排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージの操作訓練を実施	引き続き実施
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・湛水時間24時間以上となる箇所全てを抽出し、天塩川上流排水計画ハンドブック及び天塩川上流域・ポンプ式進入ルート図(水系全体)作成(R2.3完成)	①排水作業準備計画の更新を実施、各関係機関に提供予定	減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて配付	・計画の変更は無し	計画の変更は無し	・音威子府で釜場整備を実施	計画の変更は無し	完了(逐次見直し)

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「洪水警報の危険度分布」をワンタッチで表示する改善を実施。「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを気象庁と民間の協力事業者で開始。「危険度分布」と浸水想定区域等リスク情報を重ね合わせる改善を実施。TwitterやYouTubeを利用した情報発信の開始。	必要に応じて改善を進める。	ホームページの改善を行い、市町村ごとの各種情報を一画面で見ることが可能となり、かつスマートフォン上での表示についても充実を図った。	R4.6以下の改善を実施 ・線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ ・キキクル(危険度分布)「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合。それに伴うスマートフォンでの表示の改善。 ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善	これまで、線状降水帯の発生をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表していた。新たに雨量予測も用いて、最大30分早く発表できるよう改善。(令和5年5月～)	これまで、線状降水帯の大雨の可能性を半日前から呼びかけをしてきた。今年度より対象地域を地方単一位から府県単一位に絞り込んで呼びかける改善(北海道地方から上川・留萌地方へ)。(R6.5)	令和8年度からの防災気象情報(警報・注意報)の体系整理に向けた準備(情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など)	引き続き実施
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	避難の切迫性が確実に伝わる主文への改良や、警戒レベルの追記を行なった。また、大雨特別警報の警報等への切り替えに合わせて洪水予報(臨時)を発表するよう改良を行なった。	必要に応じて改善を進める。	R2までの取組を継続して実施。	指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表(R4.6)	今年度の改良なし。	開発建設部と共同で発表している指定河川洪水予報の予報文の形式変更R7.1)	今年度の改良なし。	引き続き実施
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	関係機関と協力し、水防学習会において小学生を対象に講演を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小学生を対象に講演を実施した。	昨年度に引き続き、学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施した。一日防災学校等において小学生を対象に講演を実施した。	学校安全推進会議等において小・中・高及び養護学校の防災担当教員向けに講演を実施。一日防災学校等において小学生を対象に講演を実施。	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関・自治体主催する防災訓練、防災セミナーにおいて講演を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	自治体主催する防災訓練において、防災講話やパネル等展示を継続して実施。	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして気象防災普及啓発を進めた。また、気象庁HPにおいて防災気象情報等の多言語化(14か国語対応)を実施した。	関係機関と協力して対応を行なう。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	R2までの取組を継続して実施。	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして防災気象情報の普及啓発を継続して実施。	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P									
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修での講演実施。R1年に上川管内市町村防災担当職員を対象に、R2年に名寄市職員を対象に中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを実施。	市町村と協力して、個別に気象防災ワークショップを実施する。	R2までの取組を継続して実施。天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修での講演実施。	R2までの取組を継続して実施。 ・土砂災害や中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを実施。 ・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修での講演実施。	R2までの取組を継続して実施。 ・本年の大雨顕著事例について気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、振り返りを複数市町村と行なった。(令和5年8月～)	R2までの取組を継続して実施。 ・本年の大雨顕著事例について気象台の発表する防災気象情報の今後の改善等を目的に、振り返りを複数市町村と行なった。(令和5年8月～)	土砂災害や中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを継続して実施。	引き続き実施	
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会席上において気象災害事例等の情報提供を行なった。	引き続き情報提供を行なう。	R2までの取組を継続して実施。R03.12から週2回自治体を対象に5分程度のオンラインによる気象解説を開始。	R2までの取組を継続して実施。 ・R03.12から週2回自治体を対象に5分程度のオンラインによる気象解説を開始。	R2までの取組を継続して実施。 ・Zoomを活用した市町村等への気象解説を、上川・留萌各(総合)振興局及び旭川・留萌各開発建設部との5者連携・協力とし、気象解説と情報共有を行なう場とした。(令和5年8月～)	昨年度に引き続き「上川・留萌管内防災連携TV」により、平時・臨時による気象解説等実施。	zoomを活用した「上川・留萌管内防災連携TV」により、平時・臨時による気象解説等を継続して実施。	引き続き実施	
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U									
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T									
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V	堤防整備、河道掘削を実施	引き続き実施	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削を実施	堤防整備、河道掘削、護岸、構造物改築、伐木	引き続き実施
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	堤防の天端舗装を実施	引き続き実施する。	堤防の天端舗装を実施	堤防の天端舗装を実施	---	---	---	完了 (逐次見直し)
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計の設置(R元年度で完了)							完了 (逐次見直し)
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	協力依頼等があれば適宜実施する。	・避難情報に関するガイドラインの改訂(「避難勧告等→避難情報」など)に伴い、タイムラインを変更し市町村へ周知。	---	・必要に応じた関係機関との調整	・必要に応じた関係機関との調整	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	完了 (逐次見直し)
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を作成。	未定	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図市町村へ配付	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	洪水浸水想定区域の指定対象河川の拡大に伴い、新たな洪水浸水想定区域図をWEBサイトに公表	完了(逐次見直し)
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定	同上	同上	同上	同上	同上	完了(逐次見直し)
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定	同上	同上	同上	同上	同上	引き続き実施
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の企画・実施支援(士別市:士別小学校ほか)	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。	・1日防災学校の企画・実施支援(剣淵町:剣淵中学校)	・1日防災学校の企画・実施支援(士別市:士別南小学校、剣淵中学校)	・1日防災学校の企画・実施支援(下川中学校、剣淵中学校)。	・1日防災学校の企画・実施支援。	・1日防災学校の企画・実施支援。	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き各機関が実施する防災訓練等へ参加・協力する。	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲームの実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲームの実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施。 ・北海道地域防災マスター認定研修会を実施。 ・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施。 ・北海道地域防災マスター認定研修会を実施予定。 ・北海道地域防災マスターフォローアップ研修会を実施予定。 ・避難所運営ゲームDoIはく講師養成研修会を実施。 ・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	引き続き実施	
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・特になし	・関係機関と協力して対応する。	・特になし	・特になし	・必要に応じた関係機関との調整	・必要に応じた関係機関との調整	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定	・特になし	ハザードマップ作製の基となる想定最大規模も含めた浸水想定区域図のWEB公表に伴い、対象外となっている地区の作製・公表状況について調査し把握	・特になし	・特になし	・特になし	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施する。	道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	道管理区間における重要水防箇所等の点検を実施。	引き続き実施
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川治水促進期会による豪雨災害対策職員研修のサポートを実施。 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援 ・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施	・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施(士別市、剣淵町)。	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	・市町村が実施する訓練・研修・講習会への支援等を実施。	引き続き実施	
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	引き続き実施	
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U									
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T									
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

北海道警察 旭川方面本部

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごことまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学生を対象に防災講話を実施。	・小中学生を対象に防災講話を実施予定。	・小中学生の庁舎見学時等に防災講話等を実施。	・小中学生の庁舎見学時等に防災講話等を実施。	・小中学校の交通講話等の機会に合わせて防災講話等を実施。	・小中学生の庁舎見学等において防災に関する説明を実施した。	小中学生の庁舎見学、交通講話等の機会に合わせて防災講話を実施した。	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水害が予想される地域の交番連絡協議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。	・コロナ禍であったことから、小規模に住民等を対象とした防災講話を実施。	・コロナ禍であることから、小規模に小学校等を対象とした防災講話を実施。	外国人技能実習生を対象とした講話、DIG訓練を実施した。避難行動要支援者等が参加する老人クラブにおいて防災講話を実施した。	・高齢者等の地域住民を対象として防災講話や災害図上訓練を実施したほか、自治体等が主催する訓練や講習会に参加した。	高齢者等や地域住民を対象として、防災講話や災害図上訓練を実施したほか、避難行動要支援者等が参加する各種会合において防災講話を実施した。	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、啓発活動を実施予定。	・ミニ広報誌やインターネットを活用し防災広報を実施。 ・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムの活用。	・ミニ広報誌やインターネットを活用した防災広報を実施。	地元FMラジオを活用した災害広報を実施した。 また、交通安全運動等の各種イベント主催時において防災広報を実施した。	・外国人技能実習生に対して防災講話等を実施 ・地元FMラジオや各種イベントにおいて防災広報を実施	外国人技能実習生に対して、防災講話を実施した。各種イベント会場における防災広報を行い来場者に対する啓発活動を行った。	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	① 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O, P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。	・警察署ごとに災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を図る。	・各自治体で作成したハザードマップを基軸として、災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を図った。	各警察署において災害発生危険箇所を实地踏査し、職員への周知徹底を図った。	・災害発生予想危険箇所の実施踏査し、教養資料を作成するなどして職員への周知徹底を図った。	各警察署において災害危険箇所を实地踏査したうえ、教養資料を作成し職員へ周知を徹底した。	引き続き実施
	② 市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、実施せず。	・各自治体等が実施した防災訓練に参加。	各警察署管内の自治体等が実施する防災訓練に参加。	・自治体等が実施した防災訓練に参加した。	各警察署管内の自治体等が実施した防災訓練等に参加した。	引き続き実施
	③ 流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q, U	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施予定。	・市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図った。 ・水防連絡協議会で取りまとめた情報の共有を図った。	・市町村防災担当者との情報共有、連絡体制の確立を図った。 ・水防連絡協議会で取りまとめた情報の共有を図っている。	各警察署ごとに、管内自治体の防災担当者や情報共有や連絡体制の確立について確認を行った。	・各自治体の防災担当者との情報共有や連絡体制を確立を図った。	各市町村の防災担当者と継続した情報共有体制や連絡体制の確立について確認を行った。	引き続き実施
	④ 広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
	⑤ 広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	① 浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	① 排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
	② 迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

陸上自衛隊 第二師団

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。	・コロナ流行下のため、未実施	・市民等を対象とした訓練は未実施	・学校等において、器材を用いた防災教育を実施	・学校等において、器材を用いた防災教育を実施	・学校等において、器材を用いた防災教育を実施	引き続き実施	
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。	・自治体が主催する防災訓練において、水災害に関する装備品の展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	・自治体が主催する防災訓練において、氾濫を想定した図上訓練に参加するとともに、水災害に関する装備品展示を実施	引き続き実施	
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	・自治体の主催する防災訓練において、自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施	引き続き実施	
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項												
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P									
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村が実施する防災訓練に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加予定。	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	・市町村が実施する防災訓練に参加	引き続き実施
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をした。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	①警察署等に市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をする予定。 ②本協議会で関係者との情報交換を実施予定。	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制を保持	引き続き実施
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L									
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R									
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項												
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S									
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組												
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組												
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・流域治水、減災対策幹事会等の場において、情報共有及び関係者との連絡態勢の確立を図る。	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	引き続き実施
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予定。	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	・関係機関が実施する訓練等に参加	引き続き実施
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T									

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

士別市

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告等判断・伝達マニュアルについてはH27年4月に作成済み ・R2年3月に修正をし、災害対策本部訓練で使用 ・水害対策タイムラインをH30年7月に策定し、逐次見直しを実施	・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練等を実施 ・判断となる水位計等の追加に伴う見直しを実施	6/2災害対策本部訓練において、マニュアル及びタイムラインの確認	5/20災害対策本部訓練を実施し認識統一	6/2災害対策本部訓練を実施し、一連の状況付与に伴う本部の決心事項等を再認識した。	6/4災害対策本部訓練を実施し、一連の状況付与に伴う本部の決心事項等を再認識した。	6/3災害対策本部訓練を実施し、一連の状況付与に伴う本部の決心事項等を再認識した。	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B	-	・自治会等に対する出前講座を通じてマイタイムラインの必要性について普及を図る。 合わせて作成スケジュールを作成	温根別小学校に、マイタイムラインの資料を提供し、作成を促す。	タイムラインについて、広報誌に掲載し理解の促進を図った。	8/27「水防研修会」において、市内自治会役員に対し、マイタイムライン作成研修会を行った。	8/29「防災フェスティバル」において、支援等実施者に対し、マイタイムライン作成に繋がる時系列を意識した避難について研修会を実施し	自治会の防災研修及び一日防災教室において、マイタイムライン作成に繋がる時系列を意識した避難について説明・普及を実施した。	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・地域防災計画に記載されている17施設のうち11カ所の施設について、避難確保計画策定	・R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定 ・避難訓練実施状況を確認し、洪水想定訓練実施を促進	要配慮者利用施設の避難確保計画の策定完了	小学校以外、避難訓練の実施について未確認	小学校以外、避難訓練の実施について未確認	8/29「防災フェスティバル」において、支援等実施者に対し、研修会を実施した。	9月27日の防災イベント「防災ラウンジしべつ」において、避難支援体制について解説し、体制構築を図った。	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿は作成済、毎年更新 ・個別計画はR2から地区作成	・引き続き個別計画の策定を推進 ・総合防災訓練で検証	個別計画を策定している10自治会の検証を総合防災訓練で実施	未実施	未実施	福祉部局で実施中	福祉部局で実施中	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町を含めた広域避難の必要性について担当者間での認識統一を図った。	・近隣市町との意見交換を実施 その後、具体的な広域避難について検討	未実施	未実施	未実施	情報収集中	情報収集中	引き続き実施
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・「しべつ暮らしナビ」(防災)を整備した。	・R3年度末に防災行政無線(戸別受信機)の更新 し発信内容も含めて検討	高齢者等の情報弱者に対する戸別受信機の配付を実施	防災のみならず、健康に関する事項も発信(熱中症、食中毒等)	戸別受信機の貸与基準を拡大し、より多くの希望者に貸与	戸別受信機の貸与基準を拡大し、より多くの希望者に貸与	個別避難計画対象者(作成済み)すべてに戸別受信機の貸与をすすめる。 市のアプリの活用推進中	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・H31年4月に想定最大規模のハザードマップを作成し全戸に配布した。(ホームページにも掲載)	・毎年記載事項を確認し、必要に応じて更新を検討する。	洪水想定の実施し、市民にハザードマップの周知を図る。	大雨によるため池決壊を想定した訓練を実施して「ため池ハザードマップ」の周知を図った。	8/27「水防研修会」時、降雨体験装置や地下浸水体験装置を一般市民にも体験させ、大雨に対する意識を強く印象つけた。	「防災フェスティバル」、一日防災教室、自治会主催講演会等において、ハザードマップの有効性について伝達し意識の高揚を図った。	「防災イベント」「防災ラウンジイベント」、一日防災教室、自治会主催講演会等において、ハザードマップの有効性について伝達し意識の高揚を図った。	引き続き実施
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまことハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・公共施設の在り方の見直しに伴い避難所の改廃を検討した。	・作成することによる効果と作成費用を検討し、まるとまことハザードマップ等の作成を決定する。		未実施	未実施	まるとまことハザードマップについて情報取集中	まるとまことハザードマップについて情報取集中	引き続き実施
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の参加促進 ・小学生の校外授業における出前講座の実施	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行う。	小学校の校外授業及び避難訓練時の際に、水害についての講義を実施	小学校の校外授業(1件)、1日防災学校(2校)、小学校の避難訓練(1校)において防災講話を実施	小学校の校外授業(1件)、1日防災学校(5校)、小学校の避難訓練(1校)において防災講話を実施	1日防災学校(3校)において防災講話を実施	1日防災学校(4校)において防災講話を実施	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・毎年テーマを設定した総合防災訓練を実施	・住民参加型の避難訓練を重視して継続的に実施	コロナの状況に応じた避難訓練を実施	浸水域の少ない地域住民の避難訓練を実施(9/1)	未実施	未実施	未実施	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・夏期の大雨などに備えて広報誌、SNSを活用して注意喚起	・引き続き広報誌、SNSに掲載		今冬以降、防災意識の啓発を実施	時期に応じて、広報誌・HPIにより記事を掲載し、防災意識の啓発を実施(10月に防災特集)	時期に応じて、広報誌・HPIにより記事を掲載し、防災意識の啓発を実施(9月と12月に防災特集)	広報誌・HPIにより記事を掲載し、防災意識の啓発を実施(9月に防災特集)	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握	・対象外となっている地区の水害リスクを把握し、避難判断マニュアルへの反映	ハザードマップ上で被害の少ない地域に対する訓練を来年度以降計画	浸水域の少ない地域住民の避難訓練・防災講話を実施(9/1)	・大雨時、ハザードマップ対象外の地区の水害リスクについても把握はしているが、マニュアルへの反映は、未実施	避難判断マニュアルへの反映のために情報収集	避難判断マニュアルへの反映のために情報収集	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年関係機関と共同で河川の重要水防箇所等の点検を実施	・毎年関係機関と共同で重要水防箇所等の点検を実施	8/26河川の重要水防箇所等の点検を実施	6/23河川の重要水防箇所等の点検を実施	6/19河川の重要水防箇所等の点検を実施	6/27、天塩川上流重要水防箇所合同巡視を実施	7/17、天塩川上流重要水防箇所合同巡視を実施	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や豪雨災害対策職員研修に参加した。	・防災担当者を対象とする研修等に継続して参加	各種防災関係のWEB会議に参加	豪雨災害対策職員研修事務局として参加	豪雨災害対策職員研修事務局として参加	豪雨災害対策職員研修事務局として参加	豪雨災害対策職員研修事務局として参加	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策部会等で情報共有を図った。	・減災対策部会等で情報共有を図る。		流域治水幹事会等で共有を図った。	流域治水幹事会等で共有を図った。	流域治水幹事会等で共有を図った。	流域治水幹事会等で共有を図った。	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防団の募集等を主に行っている消防署においてポスター掲示などの啓発を行った。	・引き続き消防署において啓発を行う。	消防署において実施	消防署において実施	消防署において実施	消防署において実施	消防署において実施	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・同上	・同上	同上	同上	同上	消防署において実施	消防署において実施	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・新庁舎の非常用電源を屋上に設置し、浸水時における電力を確保した。	・拠点施設の浸水による施設機能の不全箇所及び機能回復日程を確認		未実施	未実施	市内防災の3つの拠点に商用電源停止中に発電機からの電力を施設内に供給する設備(分電盤)を設置	対応済み	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、災害対策車の要請方法を確認	未実施	台風14号の解説時、災害対策機械等の説明もあり、そこで確認した。	8/5大雨の際、出動要請方法まで確認を実施(実際の要請は、行わなかった。)	7/24大雨の際、出動要請を実施	該当なし	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・市内業者に管理委託をしている排水ポンプの職員操作訓練は未実施	・排水ポンプの職員操作訓練を実施	未実施	未実施	未実施	7/24大雨の際、排水ポンプ実働する。	未実施	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水常襲箇所を把握し可搬型排水ポンプを購入した。	・内水被害常襲箇所の災害発生前の浸水対策及び排水作業準備計画の確認	未実施	内水発生箇所については、建設水道部において把握	同左	内水発生箇所については、建設水道部局において把握し情報共有	把握済み	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

名寄市

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H28.3.16 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成。(H29.3.30改訂) ・タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。	河川事務所などで見直しについて協議している。	名寄河川事務所と見直しについて協議した。	タイムラインを活用した災害対策本部訓練を実施し、精度の向上を図った。	災害時の初動対応訓練を実施予定。	市民を含めた防災訓練(避難訓練)を実施した。(災対本部設置、避難情報発令、避難所開設、受付等)	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①出前講座や防災セミナーなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを周知する。 ②町内会(自主防災組織)を通じて作成サポートできるような計画策定に向けて検討を進める。	防災訓練及び防災セミナーを通じて、マイタイムラインの必要性や作成方法などについて学習。	・出前講座でマイタイムライン作成の必要性を伝えた。 ・マイタイムラインについて記載された防災ガイドマップを全戸配布した。	防災セミナー及び出前講座においてマイタイムラインの必要性や作成方法などについて学習を深めた。	防災セミナー、出前講座においてマイタイムラインの重要性や作成方法について学んだ。	出前講座において、マイタイムラインの重要性や作成方法について伝えた。	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載。 ・避難確保計画の策定に向けて、近隣自治体の施設も含めた研修会を実施。	①R3年度までに、地域防災計画に記載された全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定をめざす。 ②避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施する予定。 ③要配慮者施設における避難訓練の実施について支援を実施予定。	避難確保計画の作成・提出の必要性について周知。 計画作成や訓練実施についての支援を実施。	要配慮者利用施設に資料を送付し、避難確保計画の策定及び避難訓練の実施を促した。	要配慮者利用施設に計画の作成と提出並びに、訓練の実施と報告書の提出の必要性などについて通知するとともに、実施を促した。	要配慮者利用施設に資料を送付し、避難確保計画の策定及び訓練の実施について重要性を周知し、実施を促した。	要配慮者利用施設に資料を送付し、避難確保計画の策定及び訓練の実施について重要性を周知し、実施を促した。	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿の平常時の活用について、同意のある方の名簿を関係機関に提供できる体制を整備。	①高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、福祉部局等の関係者との調整を実施予定。 避難計画、個別計画の作成後、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定) ・避難行動要支援者名簿を平常時に活用するため、名簿情報の更新を適宜行う。	避難行動要支援者名簿の更新・管理について連携している。	福祉部局と打ち合わせを行い、名簿の更新作業を進めている。	福祉部局と打ち合わせを行い、名簿の更新作業を進めている。	福祉部局と連携を図り、名簿の更新作業を実施。	名簿の更新、個別避難計画の作成をすすめた。	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・北・北海道定住自立圏の構成自治体による協定により、広域避難に関する協議を実施。	①有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会での議論を踏まえる)	近隣自治体と協力し、物資輸送にかかる訓練を実施。	未実施	未実施	未実施。	未実施	引き続き実施・検討
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・携帯電話を保有していない方や、携帯電話にメール機能を有していないにも災害時の緊急情報を提供するため、自宅の電話・FAX番号を登録し、一斉配信できるシステムを導入。	①同報系防災行政無線の整備や、インバウンド対策について検討を進める。	携帯電話を保有していない方などへの情報提供のため、一斉配信システムへの登録について周知。	携帯電話を保有していない方などへの情報提供のため、一斉配信システムへの登録について周知。	携帯電話を保有していない方などへの情報提供のため、一斉配信システムへの登録について周知した。	携帯電話を保有していない方などへの情報提供のため、一斉配信システムへの登録について周知した。	携帯電話を保有していない方などへの情報提供のため、一斉配信システムへの登録について周知した。防災訓練で活用し、操作訓練を実施した。	引き続き検討

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H30年8月に住民に配布。(ホームページにも掲載)	①新たな浸水想定公表により、R4年度に更新予定。	令和4年度に更新を予定している。	ハザードマップを更新した。	防災セミナーや出前講座などで、防災ガイドマップの活用などについて周知した。	防災セミナーや出前講座などで防災ガイドマップの活用などについて周知した。	出前講座などで防災ガイドマップの活用法について周知した。	引き続き検討
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるとまちごとハザードマップ作成事業を実施(標示避難所及び避難場所に看板を設置するとともに、市内幹線道路に避難方向や浸水深を標示した案内看板を設置)。	①R3年度以降に、市内幹線道路等の案内看板の増設等を検討する ②3Dハザードマップを作成について検討を進める。	まるとまちごとハザードマップの案内看板の増設を進めている。	まるとまちごとハザードマップの案内看板の増設を進めている。	まるとまちごとハザードマップの案内看板の増設を進めている。	まるとまちごとハザードマップの有効性について周知した。	まるとまちごとハザードマップの有効性について周知した。	引き続き実施・検討
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、出前講座を実施。(H30年度) ・高等学校での出前講座を実施。(R1年度)	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	小中学校への出前講座を実施。令和4年度の防災訓練として、小学生への防災教育を検討・調整している。	小学性を対象とした、防災体験教室を開催した。	小学生を対象とした防災体験教室を開催するとともに、小学校での出前講座を実施した。	小学生を対象とした防災体験教室を開催した。また、小学校での出前講座を通じて水害の危険性を感じてもらった。	小学生への出前講座を実施し、防災・減災について伝えた。	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、市民を対象とした防災セミナー及び防災訓練を実施。 ・関係機関と連携し、職員を対象とした災害図上訓練を実施。	①出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。	防災セミナーで「Doはぐ」を実施。	防災セミナーで「Doはぐ」を実施。	防災セミナーでの講演やマイ・タイムラインについての作成要領などについての学習を深めた。	防災セミナーでの講演やマイ・タイムラインの作成要領について学び、災害の理解と知識を深めた。	関係機関と協力し、防災フェスタを開催した。	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	広報誌、ホームページに掲載。	①広報誌、ホームページに掲載予定。	広報誌、ホームページにて防災意識の高揚を促している。	広報誌、ホームページにて防災意識の高揚を促している。	広報誌、ホームページにて防災意識の高揚を促している。	広報誌、ホームページにて防災意識の高揚を促している。	広報誌、ホームページにて防災意識の高揚を促している。	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①ハザードマップを更新する予定。	令和4年度にハザードマップ更新を予定している。	ハザードマップを更新した。	未実施	未実施。	未実施	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施。	①毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。		重要水防箇所合同巡視を行った。	重要水防箇所合同巡視を行った。	重要水防箇所合同巡視を行った。	重要水防箇所合同巡視を行った。	重要水防箇所合同巡視を行った。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川治水促進期成会の構成自治体職員等を対象とした豪雨災害対策職員研修会を実施。 ・市職員を対象とした災害対策本部訓練及び避難所開設・運営の訓練を実施。	①天塩川治水促進期成会での豪雨災害対策職員研修会を実施・参加予定。	豪雨災害対策職員研修に参加している。	豪雨災害対策職員研修に参加。	豪雨災害対策職員研修に参加。	豪雨災害対策職員研修に参加。	豪雨災害対策職員研修に参加。	豪雨災害対策職員研修に参加。	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施。 ・減災対策協議会等で情報共有を実施。 ・道北9市の担当者会議にて情報を共有。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策協議会等での情報共有を予定。	国の物資調達・輸送調整等支援システムに力を入れている。	物資調達・輸送調整等支援システムを随時更新。	物資調達・輸送調整等支援システムを随時更新。	物資調達・輸送調整等支援システムを随時更新。	物資調達・輸送調整等支援システムを随時更新。	物資調達・輸送調整等支援システムの研修会に参加。またを随時更新している。	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	消防署と連携して協力団体等の支援体制の構築に努めている。	ポスターを掲示した。	消防署と連携して協力団体等の支援体制の構築に努めている。	消防署と連携して協力団体等の支援体制の構築に努めている。	消防署と連携して協力団体等の支援体制の構築に努めている。	消防署と連携して協力団体等の支援体制の構築に努めている。	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	広報誌、ホームページ、SNSを活用している。	消防署で募集広報を行っている。	消防署で募集広報を行っている。	消防署で募集広報を実施している。	消防署で募集広報を実施している。	消防署で募集広報を実施している。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施。	①重要施設の機能維持を検討し、具体的な対策を講じる予定。	災害時における庁舎の電源確保などについて確認	業務継続計画の見直しを行った。	業務継続計画の見直しを行った。	業務継続計画の見直しを行った。	業務継続計画の見直しを行った。	業務継続計画の見直しを行った。	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策協議会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認。	①減災対策協議会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	豪雨災害職員研修にて、北海道開発局の機械の貸し付けなどについて確認。	排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する資料を確認した。	未実施	未実施。	未実施	未実施	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	①河川管理者所有の排水ポンプについて関係機関と連携し、操作訓練などを実施予定。		未実施	未実施	未実施。	未実施	未実施	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T		①内水常襲箇所の状況把握を実施予定。	過去の内水被害状況について確認。	未実施	未実施	未実施。	未実施	未実施	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

和寒町

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	避難勧告型タイムラインについてはR2年に作成済み	河川管理者と連携を図り、タイムラインを検証していく。	河川管理者から新たな資料などなかったため未実施。今後も検証し制度向上に努める。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行った。今後も検証し制度向上に努める。	河川管理者と連携しながら、運用を継続して行った。今後も検証し、精度向上に努める。	河川管理者と連携しながら、運用を継続して行った。今後も検証し、精度向上に努める。	河川管理者と連携しながら、運用を継続して行った。今後も検証し、精度向上に努める。	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	住民一人一人が取る防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成の意識向上のため、各市町村の取組を参考に実施	未実施	一部の地域で避難行動の研修会を実施した。	自治会や小学校での防災研修を行い、防災意識を高め、マイタイムラインの作成を促した。	全町民を対象に水防研修会を実施し、中学生と町民と一緒にマイタイムラインを作成した。	一部の地域で避難行動の研修会を実施した。	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	*R2年度作成の想定最大規模ハザードマップ浸水想定区域内の要配慮者利用施設について、地域防災計画に今後記載し施設に避難確保計画策定等の確認をする。	R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定(避難確保計画策定の支援を実施する)	計画策定の伴う支援要請がなかったことから未実施	地域防災計画に要配慮者利用施設の指定	要配慮者利用施設において、避難確保計画を策定済みとなっており、対象施設へは、避難訓練の実施を促した。	要配慮者利用施設において、避難確保計画は作成済みだが、避難訓練にはつなげていない。	要配慮者利用施設において、避難確保計画は作成済みだが、避難訓練にはつなげていない。	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施し、その後は避難計画を作成し、避難訓練等を検討	避難行動要支援者避難支援プラン作成に伴い今後具体的に推進する	避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に関する条例を制定	避難行動要支援者に対する避難計画の作成を進めるため、避難行動要支援者名簿の整理した。	作成の希望があった避難行動要支援者から計画を作成していった。	一部の地域で避難行動要支援者を含めた避難訓練の計画をしている。	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	-	有効な広域避難について近隣自治体と意見交換をし、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会で議論を踏まえる)	本協議会での議論を踏まえて今後検討を行う	本協議会での議論を踏まえて今後検討を行う	避難方法、避難所については、最大規模を想定したハザードマップに基づき設置している。広域避難計画については、近隣の町村の動向などを踏まえて検討している。	避難方法、避難所については、最大規模を想定したハザードマップに基づき設置している。広域避難計画については、近隣の町村の動向などを踏まえて検討している。	避難方法、避難所については、最大規模を想定したハザードマップに基づき設置している。広域避難計画については、近隣の町村の動向などを踏まえて検討している。	引き続き実施
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	*住民に対し防災情報ラジオの普及に向けたPRを広報紙、HP、を用いて実施。 *災害等の気象情報を防災無線で全町民に発信した。	引き続き、災害への備えの啓発や防災情報発信を実施。	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた	災害発生の際がある気象情報があった際は、防災無線を活用し、全町民に対し、注意喚起を呼びかけた。	災害発生の際がある気象情報があった際は、防災無線を活用し、全町民に対し、注意喚起を呼びかけた。たま、LINEにも情報を発信	災害発生の際がある気象情報があった際は、防災無線を活用し、臨時放送をかける等、全町民に対し、注意喚起を呼びかけた。たま、町公式LINEにも情報を発信した。	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	(1)想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	(2)想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年度に住民に配布予定。	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	住民配布後自治会長及び希望する一部自治会へ説明を実施	自治会役員等へハザードマップを含め防災計画の概要を説明を実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップは作成済みであり、ホームページで周知したほか、自治会や小中学校の研修においても周知を行った。	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップは作成済みであり、ホームページで周知したほか、自治会や小中学校の研修においても周知を行った。	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップは作成済みであり、ホームページで周知したほか、自治会や小中学校の研修においても周知を行った。	引き続き実施
	(3) 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J		想定最大規模ハザードマップ作成されたことから、まるごとまちごとハザードマップ導入の可否について検討。	未実施	自治会役員等へハザードマップを含め防災計画の概要を説明を実施	自分の住んでいるところが、どのような地域であるのかなどを知ってもらうため、自治会や小中学校での研修にて、広く活用した。	自分の住んでいるところが、どのような地域であるのかなどを知ってもらうため、自治会や小中学校での研修で、広く活用した。	自分の住んでいるところが、どのような地域であるのかなどを知ってもらうため、自治会や小中学校での研修で、広く活用した。	引き続き実施
	(4)小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について防災教育の素材等を学校に説明	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について、防災教育の素材等を学校に説明をし実施を検討	学校と相談し防災カルタなど活用した授業を実施	小学校児童にとって身近な町に関する題材により、各学年にあわせた出前授業を実施	ハザードマップを利用し、自分の町の河川が氾濫したとき、どこが浸水するかを説明したほか、水害についても説明を行った。	全町民を対象にした水防研修会を実施し、パネルなどを利用し、洪水についての防災教育を行った。また、小学校で防災学習として、ハザードマップを利用した学	ハザードマップを利用し、自分の町の河川が氾濫したとき、どこが浸水するかを説明したほか、水害についても説明を行った。	引き続き実施
	(5)関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、水防災に関する訓練・講習会実施や町補助制度による開催の呼びかけ	引き続き、関係機関と連携し、水防災に関する訓練・講習会実施や町補助制度による開催の呼びかけ	各自治会へ補助制度の説明と講習会への支援を実施	各自治会へ補助制度の説明と講習会への支援を実施	自治会などへの防災研修において、ハザードマップを使用しながら避難所などへの避難経路の確認を行った。	全町民を対象にした水防研修会を実施した。	自治会などへの防災研修において、ハザードマップを使用しながら避難所などへの避難経路の確認を行った。	引き続き実施
	(6)住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	広報誌、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定	広報紙などを活用し啓発を実施	広報紙などを活用し啓発を実施	ホームページにて周知しているが、多言語化については、今後検討していく。	ホームページにて周知しているが、多言語化については、今後検討していく。	ホームページにて周知しているが、多言語化については、今後検討していく。	引き続き検討
	(7)ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	対象外となっている地区を把握し一部R2年度作成に反映した。	今後も、必要に応じハザードマップの更新を検討	R2年度に空白地区を考慮し作成のため、今後は必要に応じ検討	R2年度に空白地区を考慮し作成のため、今後は必要に応じ検討	全町を対象としたハザードマップを作成しているため、対象外地域はない。	全町を対象としたハザードマップを作成しているため、対象外地域はない。	全町を対象としたハザードマップを作成しているため、対象外地域はない。	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O, P	河川管理部署が出水期前に水害リスクの高い箇所の点検や消防での水利点検を実施	引き続き、河川管理部署が出水期前に水害リスクの高い箇所の点検や消防での水利点検を実施	国の管理河川がないため共同点検は未実施	国の管理河川がないため共同点検は未実施	重要水防箇所の見直しを実施した結果、該当する重要水防箇所がなかったため、共同点検についても未実施。	重要水防箇所の見直しを実施した結果、該当する重要水防箇所がなかったため、共同点検についても未実施。	重要水防箇所の見直しを実施した結果、該当する重要水防箇所がなかったため、共同点検についても未実施。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	水防連絡協議会や、治水促進期会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図った	引き続き、減災対策協議会や、治水促進期会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図る	引き続き協議会による研修会に参加し向上を図る	引き続き協議会による研修会に参加し向上を図る	減災対策協議会や治水促進期会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図った。	減災対策協議会や治水促進期会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図った。	減災対策協議会や治水促進期会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図った。	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q, U	・水防連絡協議会で取りまとめた情報の共有を実施	引き続き、減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施	引き続き、減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施	引き続き、減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施	減災対策協議会等で情報の共有を図る。	減災対策協議会等で情報の共有を図る。	減災対策協議会等で情報の共有を図る。	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	引き続き、広報誌やHP等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施	ホームページで水防協力団体の募集を実施。	ホームページで水防協力団体の募集を実施。	ホームページで水防協力団体の募集を実施。	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	引き続き、広報誌やHP等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、広報誌やHP等で水防協力団体の募集を実施	消防団員が水防団員を担っていることから、消防団員募集のポスターを掲示し、拡充を図っている。	消防団員が水防団員を担っていることから、消防団員募集のポスターを掲示し、拡充を図っている。	消防団員が水防団員を担っていることから、消防団員募集のポスターを掲示し、拡充を図っている。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	R2年度ハザードマップの更新を踏まえ、今後は拠点施設のリスクを把握し機能維持の検討する。	ハザードマップの更新を踏まえ、拠点施設のリスクを把握し機能維持の検討	垂直避難が困難な地区について検討	想定最大規模ハザードマップによる浸水域の拡大に伴い、対応する災害種別ごとに対応した避難看板に更新	1階で保管していた非常食などの防災備品を2階に変更し、浸水被害に合わないよう対応した。	1階で保管していた非常食などの防災備品を2階に変更し、浸水被害に合わないよう対応した。	1階で保管していた非常食などの防災備品を2階に変更し、浸水被害に合わないよう対応した。	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った	引き続き水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う	引き続き協議会や研修等において確認・共有を行う	引き続き協議会や研修等において確認・共有を行う	協議会や研修などにおいて確認。	排水ポンプ車の要請方法などの確認と排水ポンプ車のデモを行い、合わせて町内の水害の発生しやすい箇所を確認して戻す。	協議会や研修などにおいて確認。	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T		名寄河川事務所等と連携した内水排水訓練を検討	国の管理河川がないため未実施	国の管理河川がないため未実施	関係機関が実施する訓練等への参加。	排水ポンプ車のデモンストレーションを実施。	関係機関が実施する訓練等への参加。	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース)	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース) ・効果的な排水を行う為の検討を実施。	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借上	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借上	内水被害常襲箇所の確認を行い、大雨の多い7～9月にかけて排水ポンプを設置し、大雨への対策を行った。	内水被害常襲箇所の確認を行い、大雨の多い7～9月にかけて排水ポンプを設置し、大雨への対策を行った。	内水被害常襲箇所の確認を行い、大雨の多い7～9月にかけて排水ポンプを設置し、大雨への対策を行った。	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

剣淵町

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについては令和元年度に作成済み。	①R3年度以降(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行い、必要に応じ更新を行う。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行い、必要に応じ更新を行う。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行い、必要に応じ更新を行う。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行い、必要に応じ更新を行う。	河川管理者と連携を図り、運用を継続して行い、必要に応じ更新を行う。	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度から自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。	高齢者を中心に避難行動の研修会を実施した。	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・洪水ハザードマップの更新を行い、避難場所等の見直しを行うとともに、必要に応じ近隣市町村と具体的な協議を実施した。	①該当となった要配慮者利用施設に、避難確保計画策定の支援を実施する。	学校や自治会、サロン等で研修会を実施した。	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・対象外となっている地区を把握した。	①避難行動要支援者名簿の有効活用や高齢者に向けた避難訓練を実施予定。	自治会等に情報共有を図り、有事に備えた取組を行った。	自治会等に情報共有を図り、有事に備えた取組を行った。	自治会等に情報共有を図り、有事に備えた取組を行った。	自治会等に情報共有を図り、有事に備えた取組を行った。	自治会等に情報共有を図り、有事に備えた取組を行った。	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を締結した。	①R3年度は有効な広域避難について、近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会で議論を踏まえる)	本協議会で情報共有を図った。	本協議会で情報共有を図った。	本協議会で情報共有を図った。	本協議会で情報共有を図った。	本協議会で情報共有を図った。	引き続き実施
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・デジタル式の防災無線を整備した。	①SNSを活用した情報発信を実施予定。 ②多言語化対応を検討予定。	戸別受信機を全戸配布し、情報発信の訓練を実施した。	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた。	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた。	気象情報により災害の恐れがある時は、防災無線を活用し啓発に努めた。	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、令和3年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	ハザードマップを活用した防災研修会を実施した。	想定最大規模のハザードマップを作成済。(HPに掲載)	想定最大規模のハザードマップを作成済。(HPに掲載)	想定最大規模のハザードマップを作成済。(HPに掲載)	想定最大規模のハザードマップを作成済。(HPに掲載)	引き続き実施
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップ作成)	G、J	・まごまごハザードマップの作成を検討。	①R3年度以降、ハザードマップの説明会を実施予定。	ハザードマップを活用した防災研修会を実施した。	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き実施
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小学校、教育委員会、町等が連携し、一日防災学校を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。	学校、教委、町が連携し、一日防災学校を実施した。	学校、教委、町が連携し、小学校・中学校で一日防災学校を実施した。	学校、教委、町が連携し、小学校・中学校で一日防災学校を実施した。	学校、教委、町が連携し、小学校・中学校で一日防災学校を実施した。	学校、教委、町が連携し、小学校・中学校で一日防災学校を実施した。	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・自治会、社会福祉施設、町、気象台、名寄河川事務所等が連携し、水防研修会を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。	自治会、福祉施設等が連携し、避難所運営訓練を実施。	自治会、福祉施設等が連携し、避難所運営訓練を実施。	自治会、福祉施設等が連携し、避難所運営訓練を実施。	自治会、福祉施設等が連携し、避難所運営訓練を実施。	自治会、福祉施設等が連携し、避難所運営訓練を実施。	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報紙、ホームページに掲載した。	①広報紙、ホームページに掲載予定。	広報紙、ホームページで周知。	広報紙、ホームページで周知。	広報紙、ホームページで周知。	広報紙、ホームページで周知。	広報紙、ホームページで周知。	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①R3年度以降、ハザードマップの説明会を実施予定。	各種研修会でハザードマップの説明を行った。	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防(消防)団員等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施予定。	関係機関による重要水防箇所の点検を実施。	関係機関による重要水防箇所の点検を実施。	関係機関による重要水防箇所の点検を実施。	関係機関による重要水防箇所の点検を実施。	関係機関による重要水防箇所の点検を実施。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川上流減災対策協議会や関係機関の研修会に参加した。	①天塩川上流減災対策協議会での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修会に参加予定。	天塩川上流減災対策協議会に参加。	天塩川上流減災対策協議会に参加。	天塩川上流減災対策協議会に参加。	天塩川上流減災対策協議会に参加。	天塩川上流減災対策協議会に参加。	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川上流減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施した。	①天塩川上流減災対策協議会で取りまとめた情報を共有予定。	天塩川上流減災対策協議会の情報を共有。	天塩川上流減災対策協議会の情報を共有。	天塩川上流減災対策協議会の情報を共有。	天塩川上流減災対策協議会の情報を共有。	天塩川上流減災対策協議会の情報を共有。	引き続き実施
	④広報紙やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報紙やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	ポスターで周知を行った。	ポスターで周知を行った。	ポスターで周知を行った。	ポスターで周知を行った。	ポスターで周知を行った。	引き続き実施
	⑤広報紙やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙やホームページ、ポスターなどで水防(消防)団員を募集。	①広報紙やホームページ、ポスター等で水防(消防)団員を募集予定。	ポスターで水防(消防)団員を募集を行った。	ポスターで水防(消防)団員を募集を行った。	ポスターで水防(消防)団員を募集を行った。	ポスターで水防(消防)団員を募集を行った。	ポスターで水防(消防)団員を募集を行った。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	①令和2年度に更新した洪水ハザードマップを活用し、重要公共施設の機能維持に向けた具体的な対策を検討予定。	業務継続計画策定を検討。	業務継続計画を策定。	業務継続計画を策定済。	業務継続計画を策定済。	業務継続計画を策定済。	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、出動要請方法等に関する確認を実施。	①水防連絡協議会や研修会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	研修会等で要請方法を確認。	研修会等で要請方法を確認。	研修会等で要請方法を確認。	研修会等で要請方法を確認。	研修会等で要請方法を確認。	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車等による操作訓練を実施。	①河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車による操作訓練を実施予定。	ポンプ使用方法や注意点について確認を行った。	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	①内水被害常襲箇所の改善に向けた検討会議を予定。	地域住民と危険箇所の情報交換を実施。	地域住民と危険箇所の情報交換を実施。	地域住民と危険箇所の情報交換を実施。	地域住民と危険箇所の情報交換を実施。	地域住民と危険箇所の情報交換を実施。	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

下川町

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年4月に作成済み。 H29年10月などに訓練を実施。	①R3年度(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。	3年度は見直し無し。	4年度は、見直し無し。	5年3月の見直しを受け、職場内での周知を実施した。	6年度は、見直し無し。	7年度は、見直し無し。	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R4～5年度はモデル地区を決定し先行的なタイムライン作成のサポートを実施予定。 ②R6年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。	一部公区及び小学校高学年に対し「逃げキッド」の紹介を実施。次年度以降も拡大予定	8月に中学2年生に対して「逃げキッド」の紹介・作成指導を実施した。	9月に中学1年生に対して「逃げキッド」の紹介を実施した。	9月に中学生に対して「逃げキッド」の紹介を実施した。	9月に町民を対象にした勉強会、小中学生を対象とした一日防災学校を実施してマイタイムラインの作成について紹介した。	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設においてR3年度に地域防災計画に記載予定。	R3年度中に全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	要配慮者利用施設の避難確保計画策定を実施	要配慮者利用施設の避難確保計画策定を実施(継続)	要配慮者利用施設の避難確保計画策定後の状況確認(継続)	要配慮者利用施設の避難確保計画策定後の状況確認(継続)	要配慮者利用施設の避難確保計画策定後の状況確認(継続)	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)	福祉部門との調整を推進する。 下川町避難支援プラン(案)策定し次年度発効	福祉部門との調整を推進中。 下川町避難支援プラン(案)策定し次年度発効	下川町避難支援プランを策定し発出	下川町避難支援プランを策定し発出	福祉部門と再検討を行い、名簿、個別計画及び避難支援プランを更新	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する検討の実績はなし。	R3年度以降、近隣市町村と応援等に関する検討開始予定。	引き続き、広域避難に関し検討	引き続き、広域避難に関し検討	引き続き、広域避難に関し検討	引き続き、広域避難に関し検討	引き続き、広域避難に関し検討	引き続き検討
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ツイッター、地デジ広報を整備した。	情報伝達手段の維持・向上のための情報収集の実施	引き続き、運用中 次期IP告知端末システムについても検討中	情報担当者はスマホアプリも検討中	7年度以降はスマホアプリも検討中	7年度以降にスマホアプリも検討中	効果的な手段等について検討中	引き続き検討

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・サンルダム供用開始に伴いハザードマップを修正し、R3年3月に住民に配布予定。	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	R3年4月に全戸に配布	特に動きなし	特に動きなし	特に動きなし	R9に更新予定	引き続き実施
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まごまごハザードマップの作成を検討。	引き続きR3年度はまごまごハザードマップについて検討継続。	町有施設の壁面に浸水深を表示する方向で検討開始	特に動きなし	特に動きなし	特に動きなし	特に動きなし	引き続き実施
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・こども園と連携し、避難訓練時に防災関連の注意喚起を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。	高校、小学校において出前講座実施。	高校において実施済み	小・中・高校で実施	小・中・高校で実施	小・中・高校で実施	引き続き実施
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、防災講話を実施した。(対象は職員のみ)	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災講話を開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。	住民代表に対し「流域治水」の説明会を実施	8月水防研修会において実施	6月、12月の公区長会議において実施	公区長会議において実施	9月に町民を対象に、近年の気象状況についての説明と簡単な図上訓練を実施	引き続き実施
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・役場内、消防署にポスターを掲示した。	R3年度以降、ポスター以外にも広報誌、ホームページで広報予定。	役場内、消防署にポスターを掲示	役場内、消防署にポスターを掲示	役場内、消防署にポスターを掲示	役場内、消防署にポスターを掲示	役場内、消防署にポスターを掲示	引き続き実施
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・現行(H29年改訂)のハザードマップから、開発局作成の「浸水想定図」と北海道作成の「洪水危険度氾濫区域」のデータの併用により、いわゆる「空白地」の対応を実施済み。	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応したい。	洪水浸水想定区域の拡大に伴う市町村説明会に参加	洪水浸水想定区域の拡大に伴う市町村説明会に参加	洪水浸水想定区域の拡大に伴う市町村説明会に参加	洪水浸水想定区域の拡大に伴う市町村説明会に参加	洪水浸水想定区域の拡大に伴う市町村説明会に参加	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	重要水防箇所等の共同点検を実施した。8/30	共同巡視(6/23)	共同巡視(6/19)	共同巡視(7/17)	共同巡視(7/17)	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。	流域治水協議会 担当者意見交換会(WEB)参加	流域治水協議会 担当者意見交換会参加	天塩川上流減災対策協議会(名寄地支部会)参加(WEB)	天塩川上流減災対策協議会参加(WEB)	・豪雨災害対策職員研修に参加(7/30) ・令和7年度北海道市町村防災力専門研修に参加(8/5)	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。	天塩川豪雨対策職員研修(名寄市)参加	天塩川豪雨対策職員研修(土別市)参加	天塩川豪雨対策職員研修(土別市)参加	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	広報誌等で水防協力団体の募集を依頼	広報誌等で水防協力団体の募集を依頼	広報誌等で水防協力団体の募集を依頼	広報誌等で水防協力団体の募集を依頼	広報誌等で水防協力団体の募集を依頼	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。	広報誌やポスターなどで募集	広報誌やポスターなどで募集	広報誌やポスターなどで募集	広報誌やポスターなどで募集	広報誌やポスターなどで募集	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	重要施設(役場庁舎)の機能維持を検討し、対応策を協議予定。	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施	重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施	引き続き検討・実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	災害対策車、TEC-FORCE等の要請方法を確認	災害対策車、TEC-FORCE等の要請方法を確認	災害対策車、TEC-FORCE等の要請方法を確認 河川防災勉強会(水門等水位観測員会議)参加	災害対策車、TEC-FORCE等の要請方法を確認	・災害対策車、TEC-FORCE等の要請方法を確認	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施。	関係者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	排水ポンプによる操作訓練未実施	・河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施。	河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施	河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施	河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・大雨後の出水場所確認などにより、内水常襲箇所を把握した。	①R3年度に排水作業準備計画について検討予定。 ②内水箇所の状況把握を実施予定。 ③町所有の排水ポンプの操作訓練を実施予定。	町長による内水箇所及び危険箇所の状況把握を実施	町長による内水箇所及び危険箇所の状況把握未実施	町長による内水箇所及び危険箇所の状況把握	町長による内水箇所及び危険箇所の状況把握	町長による内水箇所及び危険箇所の状況把握	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

美深町

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH28年に作成済み。 ・毎年、防災訓練を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、防災訓練を実施予定。	新型コロナウイルスの影響により中止	防災訓練を実施予定。	・美深町特別養護老人ホームで防災訓練実施	今年度見直しは実施なし。	未実施	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R3年度は先行事例として●●地区を対象に作成サポートを実施予定。 ③R4年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。	住民による作成サポート計画を検討	住民による作成サポート計画を検討	住民による作成サポート計画を検討	住民による作成サポート計画を検討	住民による作成サポート計画を検討	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において、今後地域防災計画に記載が必要な施設を確認した。 ・(地域防災計画の記載前ではあるが)一部の施設では、避難確保計画策定、避難訓練を実施した。	①R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	地域防災計画に要配慮者利用施設の指定	地域防災計画に要配慮者利用施設の指定	地域防災計画に要配慮者利用施設の指定	福祉担当部署と調整し計画策定に向け、課題等の整理(継続)	福祉担当部署と調整し計画策定に向け、課題等の整理(継続)	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討	福祉担当部署と調整し高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討	福祉担当部署が主体となって避難行動要支援者名簿を作成	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み(H26.2)	・「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み(H26.2)	「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み	「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み	「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み	広域避難に関し検討	広域避難に関し検討	引き続き実施
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリで視聴できるように整備した。	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリで視聴できるように整備した。	・緊急エリアメールを活用。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリに配信。	・緊急エリアメールを活用。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリに配信。	・緊急エリアメールを活用。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリに配信。	・緊急エリアメールを活用。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリに配信。	・緊急エリアメールを活用。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリに配信。	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	(1)想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	(2)想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H30年4月に関係機関及び町民の使用する施設に掲示した。(ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	想定最大規模のハザードマップを作成済。(関係機関及び町民の使用する施設に掲示。HPIに掲載)	想定最大規模のハザードマップを作成済。(関係機関及び町民の使用する施設に掲示。HPIに掲載)	想定最大規模のハザードマップを作成済。(関係機関及び町民の使用する施設に掲示。HPIに掲載)	ハザードマップの改訂を実施(完成 R7年3月)	想定最大規模のハザードマップを作成済	引き続き実施
	(3) 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まごまごハザードマップの作成を検討。	・まごまごハザードマップの作成を検討。	・まごまごハザードマップの作成を検討。	・まごまごハザードマップの作成を検討。	・まごまごハザードマップの作成を検討。	活用しやすいWEB版ハザードマップの検討	活用しやすいWEB版ハザードマップの検討	引き続き実施
	(4)小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・水防訓練を小学校で実施	・水防訓練を小学校で行うよう検討。	小学校で社会科の学習(防災にそなえるまごまご)を開催	・水防訓練を小学校で行うよう検討。	・防災学習を高校で行った(防災教材の提供)	・防災学習を高校で行った(防災教材の提供)	未実施	引き続き実施
	(5)関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・毎年、自治会単位で自主防災組織と町で協力して防災訓練を開催した。	・毎年、計画的に自治会単位で自主防災組織と町で協力して防災訓練を開催する予定	新型コロナの影響で中止	自治会単位で自主防災組織と町で協力して防災訓練を開催する予定	・美深町特別養護老人ホームで防災訓練実施	NTT東日本の担当者らと災害時の防災連携協定に基づく連絡体制の図上訓練を行った。	未実施	引き続き実施
	(6)住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ホームページや広報誌による広報を実施。	・ホームページや広報誌による広報を実施予定。	ホームページや広報誌による広報を実施。	ホームページや広報誌による広報を実施。	ホームページや広報誌による広報を実施。	活用しやすいWEB版ハザードマップの検討	活用しやすいWEB版ハザードマップの検討	引き続き実施
	(7)ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。 ②氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新を検討。	対象外となっている地区の住民を対象に説明会を検討	対象外となっている地区の住民を対象に説明会を検討	対象外となっている地区の住民を対象に説明会を検討	未実施	未実施	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施予定。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川水系天塩川総合水防演習への参加 ・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加予定	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加	気象防災ワークショップへの参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修(危機管理演習)への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修(危機管理演習)への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修(危機管理演習)への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修(危機管理演習)への参加	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・減災対策部会等で情報共有を予定。	・減災対策部会等で情報共有を実施	・減災対策部会等で情報共有を実施	・減災対策部会等で情報共有を実施	・減災対策部会等で情報共有を実施	・減災対策部会等で情報共有を実施	・減災対策部会等で情報共有を実施	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載する	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
	①排水ポンプ車の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認予定。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練を実施。	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、金場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・H29年度に旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討	引き続き実施

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年4月に作成済み。	①必要に応じて見直しを実施予定。	今年度見直しは実施しない。	避難勧告型タイムライン修正案作成	今年度の見直しは無し。	今年度の見直しは無し。	今年度の見直しは無し。	引き続き検討
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3以降に住民による作成サポート計画を立案予定。	サポート計画は立案できなかった	情報収集を行い、課題等を整理する	情報収集を行い、課題等の整理(継続)	情報収集を行い、課題等の整理(継続)	情報収集を行い、課題等の整理(継続)	引き続き検討
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を確認した。(5カ所)	①今後、地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。	未作成	要配慮者・避難行動要支援者等に関する実務講習等を受講し、作成に伴う課題を整理した	計画策定に向け、課題等の整理(継続)	計画策定に向け、課題等の整理(継続)	計画策定に向け、課題等の整理(継続)	引き続き検討
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	①R3～4年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R5年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)	①について、検討・調整はできなかった	R4年度末までに個別避難計画作成予定	福祉担当部署と調整し随時更新	福祉担当部署と調整し随時更新	福祉担当部署と調整し随時更新	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画に関する検討 ・「災害時における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討(継続中)。	①引き続き広域避難計画に関する検討 ②引き続き「災害時における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討。	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	引き続き検討
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・住民向け登録制災害メール等を整備した。	①登録者数を増やす。	登録者数増はできなかった	登録制メールを再度周知し、登録者を増やした	登録制メールを再度周知	登録制メールを再度周知	Jアラート(警報以上)とLINEの連携	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年4月に住民に配布した。	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	音威子府村公式LINEにデジタル版掲載し周知。
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成、周知済み(R元年度)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった	内容の確認にとどまった
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学校を対象とした地震の「シェイクアウト」への参加の推進や洪水等を踏まえた防災訓練を学校等と連携しながら検討。	①関係機関と連携し、引き続き実施に向け検討。	検討中	R5年度実施に向けた協議を行う	小中学校で実施	検討にとどまった	検討にとどまった	
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害图上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、水防研修会の実施(R1)や、他自治体主催の避難訓練に参加。	①関係機関と連携し、研修会を実施。 ②他自治体主催の防災関係催し等に参加。 ③水害避難訓練の実施を検討。	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・水防期間を中心にポスター等の掲示、住民回覧による啓発。	①引き続きポスター掲示、広報誌への掲載、住民回覧での周知を予定。	広報6月号と住民回覧で災害警戒レベル変更を周知	広報等で「キキクル」の変更を周知	役場庁舎内および公民館にポスターを掲示	役場庁舎内および公民館にポスターを掲示	役場庁舎内および公民館にポスターを掲示	
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象地域の洗い出し。	①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。	未着手	検討中	検討中	検討中	検討中	

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①引き続き、毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。	8月に点検を実施	重要水防拠点合同巡視を6月に実施	重要水防拠点合同巡視を6月に実施	重要水防拠点合同巡視を6月に実施	重要水防拠点合同巡視を7月に実施	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関主催の勉強会に参加した。	引き続き ①天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関主催の勉強会に参加予定。	諸会議に参加	WEB会議を含む諸会議に参加	WEB会議を含む諸会議に参加	WEB会議を含む諸会議に参加	WEB会議を含む諸会議に参加	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会や減災対策部会等において情報交換や情報共有を図った。	引き続き ①天塩川流域圏会議等で取りまられた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報交換及び共有を予定。	情報共有を実施	情報共有を実施	情報共有を実施	情報共有を実施	情報共有を実施	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・ポスター掲示などで募集(消防団)周知を行った。	①引き続きポスター掲示などで募集(消防団)周知を予定。	ポスター掲示し周知	ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・ポスターの掲示などで消防(水防)団員の募集を実施。	・引き続きポスターの掲示などで消防(水防)団員の募集を実施予定。	ポスター掲示し周知	広報誌掲載及び募集ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	ポスターを掲示し周知	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の機能維持のための電源確保等の効果的な対応の検討を実施した。	①重要施設(役場庁舎)の機能維持を検討し、具体的な対策を講じる予定。	対策を講じることはできなかった	検討中	検討中	検討中	検討中	引き続き検討
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の出動要請方法を確認した。	①引き続き減災対策部会などで、排水ポンプ車の出動要請方法を確認予定。	未実施	数量・配置場所等を確認する	数量・配置場所等を確認	数量・配置場所等を確認	数量・配置場所等を確認	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車の操作訓練を検討。	・引き続き河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車の操作訓練を検討。	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	引き続き検討・実施
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害箇所(注意箇所)の確認を合同巡視により実施し、釜揚げ場の現状について情報共有を図った。	①引き続き内水被害箇所(注意箇所)の確認を実施し、情報共有を図る。	未実施	検討中	検討中	検討中	検討中	引き続き検討

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

中川町

項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H28年4月作成のタイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施予定であったが実施に至っていない。	・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せてタイムラインの見直しを実施予定。	実施に向けて検討。	実施に向けて検討。	実施に向けて検討する。	実施に向けて検討する。	・今年度見直しはなし。	引き続き実施
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'	-	・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せてタイムラインの見直しを実施予定。	-	-	-	-	・防災訓練(10月)、防災啓発講話(9月)においてマイトimelineの作成について説明	引き続き実施
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-	-	-	-	-	-	-
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・要援護者名簿を調製する福祉部署と連携した支援体制の構築を図るとともに、平成29年度以降に町内会及び自治会の協力により避難訓練計画を策定する。 【平成29年度から検討・実施】	・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せて、改めて避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施予定。 避難訓練においても適宜実施予定	避難行動要支援者の避難支援体制の構築については、引き続き検討する。 避難訓練は1か所で実施。	避難行動要支援者の避難支援体制の構築については、引き続き検討する。 避難訓練は未実施	・避難行動要支援者の避難支援体制の構築については、引き続き検討する。 ・避難訓練は実施していない。	・避難行動要支援者の避難支援体制の構築については、引き続き検討する。 ・避難訓練は実施していない。	・避難行動要支援者の一部に具体的な支援体制の確認・通知を実施	引き続き実施
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	・R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに併せて、改めて避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施予定。	避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しの検討。	個別避難計画の作成に向けて検討中	個別避難計画の策定に向けて検討している。	個別避難計画の策定に向けて検討している。	避難行動要支援者の一部の個別避難計画を作成完了	引き続き実施
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	-	・天塩川の洪水浸水想定区域等が変更されることや、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて改めて避難方法・避難場所の確認を実施予定。 有効な広域避難については今後近隣自治体の動向を踏まえながら意見交換を実施予定。具体的な広域避難についても今後検討する予定。	避難場所について検討。緊急避難場所について出水期までに変更する。	指定緊急避難場所について見直しを行い、1ヶ所を廃止し、新規箇所1ヶ所を指定済み。	避難場所・避難計画について検討している。	避難場所・避難計画について検討している。	避難場所・避難計画について検討している。	引き続き実施
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化するとともに、文字情報の音声読み上げ等高齢者等にわかりやすい情報伝達手段を検討。	・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化する。 多言語化については、今後検討する。	・TV電話(IP告知端末器)で文字情報の音声読み上げ等高齢者等にわかりやすい情報伝達に努めた。	・TV電話(IP告知端末器)で文字情報の音声読み上げ等高齢者等にわかりやすい情報伝達に努めた。	TV電話(IP告知端末器)で文字情報の音声読み上げ等を行い、高齢者等にわかりやすい情報伝達に努めた。	TV電話(IP告知端末器)で文字情報の音声読み上げ等を行い、高齢者等にわかりやすい情報伝達に努めた。	TV電話(IP告知端末器)で文字情報の音声読み上げ等を行い、高齢者等にわかりやすい情報伝達に努めた。	引き続き実施

項目事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	(1)想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	(2)想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの検討・作成を行う。 ・インバウンドに対応したハザードマップ等の検討・作成を行う。 【平成29年度から検討・実施】	・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、北海道が管理する河川において公表されている浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成を、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて行う予定。多言語化については今後検討を行う。	“新”ハザードマップを作成した。新年度、早々に住民等に配布する。	“新”洪水ハザードマップを作成した。4月に町内会説明を行い、その後同4月に住民に全戸配布した。	洪水ハザードマップについて住民への周知徹底を図った。	洪水ハザードマップについて住民への周知徹底を図った。	・防災訓練及び防災啓発校をにおいて周知を行った。	引き続き実施
	(3) 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップの作成)	G、J			検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	引き続き実施
	(4)小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を実施予定であったが、都合により中止となる。	・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を定期的実施予定。令和3年度については実施を検討。	名寄河川事務所主催で天塩川上流水防学習会を開催。また、中川中学校で防災教室を開催。	中川町立中央小学校で1日防災学校が開催され、第6学年防災学習指導及び第3、5学年避難所用段ボールベッドづくり協力に協力した。また、社会福祉協議会主催のイベントにおいて、防災用品の展示及び非常食をイベント参加者に提供し防災意識の向上を図った。	・中川町立中央小学校の1日防災教室に参加し、4～6年生を対象とした避難所用段ボールベッドづくり講座を行った。 ・社会福祉協議会主催のイベントに参加し、防災用品の展示や非常食の配布を行った。	・中川町立中央小学校の1日防災教室に参加し、5～6年生を対象とした避難所用段ボールベッドづくり講座を行った。 ・中川町立中川中学校の防災教室に参加し、1～3年生を対象とした避難所用段ボールベッドづくり講座を行った。 ・社会福祉協議会主催のイベントに参加し、防災用品の展示	・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を実施	引き続き実施
	(5)関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R		・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて、実施を検討する。	-	検討中	NTT東日本の担当者と災害時の防災連携協定に基づく連絡体制の図上訓練を行った。	-	検討中	引き続き実施
	(6)住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J		・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて、実施を検討する。	-	-	-	-	-	引き続き実施
	(7)ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G、J	・対象外となっている地区を把握した。	・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。	-	-	-	-	-	引き続き実施

項目事項	内容	課題の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。	重要水防箇所等の共同巡視を8月23日実施	重要水防箇所等の共同巡視を6月21日実施	名寄河川事務所の担当者と共に重要水防箇所等の共同巡視を6月22日実施した。	名寄河川事務所の担当者と共に重要水防箇所等の共同巡視を7月23日実施した。	名寄河川事務所の担当者と共に重要水防箇所等の共同巡視を7月11日実施した。	引き続き実施
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加を行う	・減災対策協議会や、近隣自治体が発する防災訓練、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修会に参加	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修会に参加	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修会に参加した。	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修会に参加した。	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修会に参加した。 ・豊富町の実施した図上型防災訓練を研修した。(6月)	引き続き実施
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・上川町村会事務局が主催する上川管内防災担当者会議において情報共有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に情報共有を行う。	・上川町村会事務局が主催する上川管内防災担当者会議において情報共有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に情報共有を行う。	情報共有の実施	情報共有の実施	情報共有を行った。	情報共有を行った。	情報共有を行った。	引き続き実施
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。	-	-	-	-	-	引き続き実施
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・中川消防支署との連携により広報誌やホームページ等で水防団員の募集を継続していく。	・中川消防支署との連携により広報誌やホームページ等で水防団員の募集を継続していく。	町広報誌等で実施	町広報誌等で実施	町の広報誌等で実施した。	町の広報誌等で実施した。	町の広報誌等で実施した。	引き続き実施
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成品情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	・旭川開建より提供のデータを踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	引き続き実施
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。	確認済み	確認済み	確認済み	確認済み	引き続き実施	引き続き実施
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練の実施を検討。	-	-	-	-	-	引き続き実施
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T		・R3年度以降に内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所の検討を河川管理者と連携しながら実施。	検討中	検討中	検討中	検討中	過去の被害状況及び国土地理院地図から内水被害常襲箇所を概定した。	引き続き検討・実施

2 令和7年度減災対策の取組事例

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部ほか)



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組～豪雨災害対策職員研修～

■天塩川上流減災対策委員会において策定した、減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、市町村防災担当者を対象に「石狩川流域圏・天塩川流域圏 豪雨災害対策職員研修」を実施した。

■研修は北海道大学高橋客員教授、北海道開発局、北海道、気象台が講師となり作成した動画をオンラインで視聴するeラーニング研修と、対面による危機管理演習の二部構成で実施した。

＜実施概要＞

主催者：石狩川流域圏会議(幹事恵庭市)、天塩川治水促進期成会(幹事士別市)
 参加機関：石狩川流域自治体、天塩川流域自治体、札幌建設管理部、札幌開発建設部、旭川開発建設部、留萌開発建設部
 参加人数：102名(石狩川流域自治体)、14名(天塩川流域自治体)
 実施日・内容：

【eラーニング】令和7年7月 1日(火)～29日(火)

コース	講座(動画)	講師等
1. 講話・研修	1.豪雨災害時の対応	北海道大学客員教授(元北海道局局長) 高橋季承
	2.北海道の防災体制等について	北海道総務部危機対策局 危機対策課 災害対策係 主査 三嶋 渉
	3.防災気象情報の基礎知識	札幌管区気象台 気象防災部予報課 予報官 水上威仁
	4.防災に関する基礎知識	北海道開発局 事業振興部防災課 上席専門官(防災対策) 山中誠也
	5.河川情報に関する基礎知識	北海道開発局 建設部河川管理課 水災害予報専門官 渡辺浩司
	6.PCを利用した気象情報の利用	札幌管区気象台 気象防災部予報課 水害対策気象官 齋藤千秋
	7.PCを利用した河川情報の利用	札幌開発建設部 河川整備保全課 洪水予報スタッフ 治水専門官 佐藤裕介
	8.災害復旧の概要	北海道開発局 建設部河川工事課 河川技術対策官 吉田裕敏

【危機管理演習】令和7年7月31日(木) [天塩川] / 令和7年7月28日(月) [石狩川]

項目	内容	天塩川流域圏 担当者等	石狩川流域圏 担当者等
1. 開会		士別市 総務部総務課 主幹 杉本 賢征	恵庭市 建設部土木課 治水・公園担当主査 渡辺 一雄
2. 主催者挨拶		士別市 市長 渡辺 英次	恵庭市 市長 原田 裕
3. 演習	演習説明、グループ内討議、発表、講評	一般財団法人 石狩川振興財団 高橋季承 高橋慶久	一般財団法人 石狩川振興財団 高橋季承 高橋慶久
4. 閉会		士別市 総務部総務課 主幹 杉本 賢征	恵庭市 建設部土木課 治水・公園担当主査 渡辺 一雄

＜実施状況＞ eラーニング動画

令和7年度 石狩川流域圏豪雨災害対策職員研修

防災気象情報の基礎知識

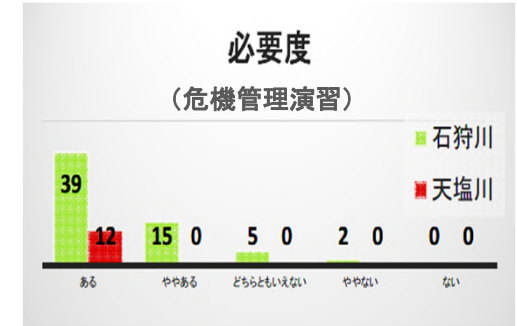
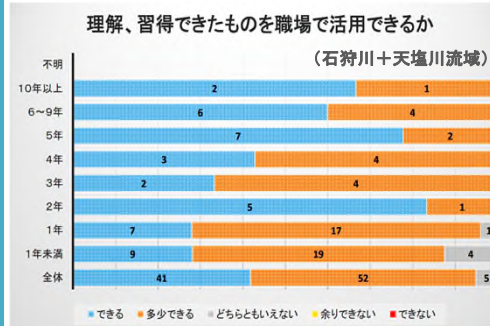
- 防災気象情報の役割
- 防災気象情報とその効果的な利用
- 気象庁が発する防災気象情報
 - 早期注意情報(警報級の可能性)
 - 大雨の状況を面的に把握するための情報
 - 警報・注意報
 - 土砂災害警戒情報・指定河川洪水予報
 - 大雨特別警報
- キキクル(危険度分布)の活用

令和7年7月1日～7月22日
札幌管区気象台

危機管理演習



＜アンケート結果・参加状況＞



- ・研修は、実務を意識した内容となっており参加者からは好評であった。
- ・eラーニングは、時間的制約を少なくでき多くの参加が期待できること、アンケートでも好評であることから次年度も同様の実施を検討する。
- ・危機管理演習は、対面開催により意見交換や人的交流が図られ、アンケートでも必要度が高いことから次年度も対面実施を検討する。
- ・今年度の自治体の参加率(11/11自治体)は高かった。

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■洪水を河川内で安全に流す対策を実施

■天塩川上流減災対策協議会において策定した「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が不足する地区を中心に河道掘削や堤防拡幅、樹木伐採、堤防拠点整備に向けた用地取得を実施。

平成30年7月豪雨を踏まえ、樹木繁茂等の緊急点検を行い、樹木伐採等を実施。



樹木伐採等



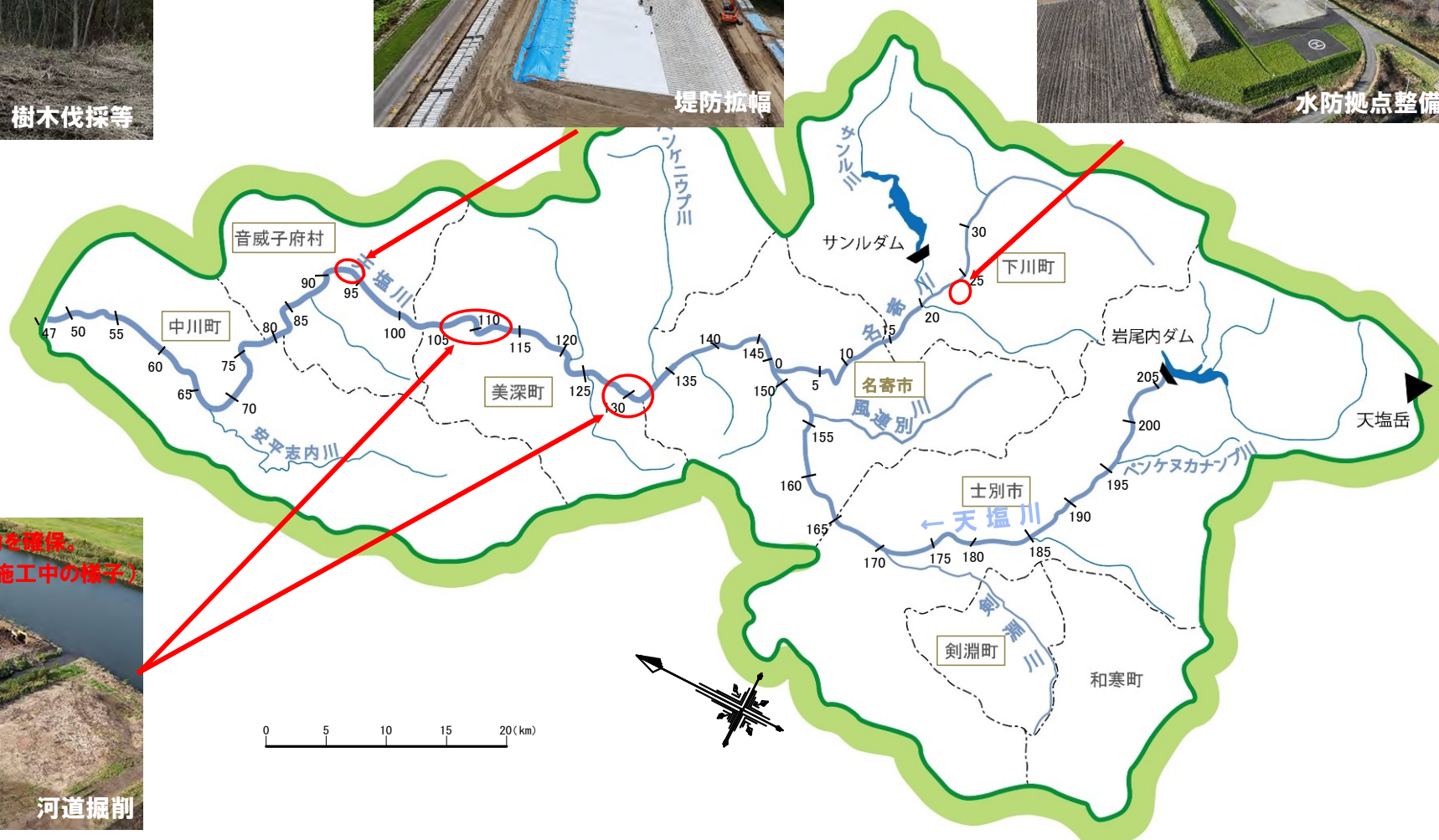
堤防の拡幅
(堤防強化対策を含む施工中の様子)

堤防拡幅

水防活動の拠点として、下川地区、名寄地区の拠点整備に向けた調整、用地取得を実施。
(写真は下川地区水防拠点)



水防拠点整備



河道断面を広げて流下能力を確保。
(施工中の様子)



河道掘削

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



関係各所と地域防災に関する取組の実施

- 減災対策部会や災害協定会社との連絡会議により、出水時の対応に関する情報共有を実施した。
- 職員と災害協定会社による樋門操作説明や水門等水位観測員会議において観測員や市町村担当者への出水時対応の説明を実施した。



天塩川上流減災対策協議会
名寄地方部会web会議



樋門操作訓練

水害に関する出前講座等の実施

- 防災に関わる知識や対応力の向上を図るため、名寄西小学校における出前講座にて天塩川の過去の水害の説明や川流れ体験などを実施した。



過去の水害の説明



川流れ体験

水防学習会の実施

- 防災に関わる知識や対応力の向上を図るため、名寄市において地域住民を対象にした水防学習会を開催し、マイタイムライン作成や機器による降雨や地下浸水などの体験を実施した。



降雨体験装置



地下浸水体験装置



3D土砂災害体験



防災カードゲーム

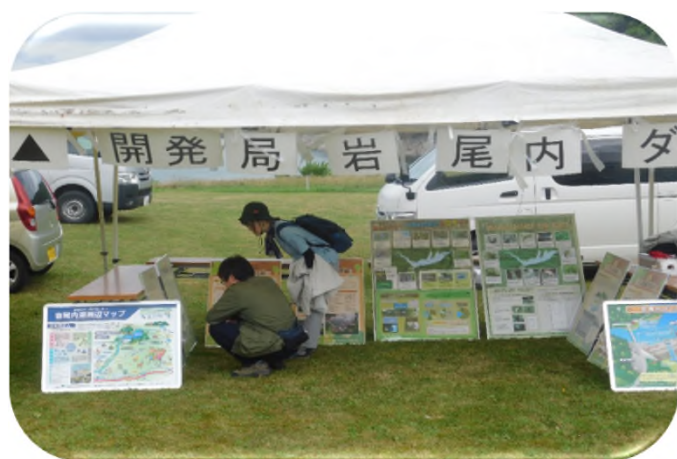
【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項(ダム見学会)

- 岩尾内ダム見学会、岩尾内湖湖水まつり会場にて、ダムの役割など訪れた地域住民、小学生、観光客へ防災に関する広報活動を実施した。

第48回 士別天塩川源流祭り 岩尾内湖水まつりでの防災教育等



岩尾内ダムブース出展状況

日時: 令和7年8月2日(土)10:00~15:00

場所: 岩尾内湖白樺キャンプ場

概要: 士別天塩川源流祭りの一環として、岩尾内湖水まつりが開催され、岩尾内ダム管理支所はダム見学会及びダムの役割等の防災に関する広報活動を行った。

(主催者: 士別天塩川源流まつり実行委員会)

実施内容: ダム見学会(2回実施)

配布物: ダムカード配布

各種パンフレット配布(子供向け・一般向け)

ダムペーパークラフト配布

展示物: 岩尾内ダム説明パネル等



ダム堤体前でダムの役割などを説明



監査廊内でダムの構造などを説明



ダムカード配布と見学会受付

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川開発建設部)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項(管理ダム)

■ダム見学において、ダムの目的、維持管理、防災操作や令和7年度の出水時のダム防災効果など広報活動を実施。

サンルダム見学において、ダムの目的など防災に関する広報活動を実施



(ダム監査廊)



(流木除去施設・魚道)

日時：令和7年5月19日(ほくでんエコエナジー)
日時：令和7年8月25日(名寄市の方々)
日時：令和7年9月29日(日本技術士会)
日時：令和7年10月14日(下川町の方々)

概要：ダムの目的、維持管理、防災に関する
広報活動を実施

実施内容～ダム見学

配布物～ダム説明資料
ダムの目的がわかるダムカード配布



(ダム全般)



(取水設備等操作室)



(管理支所内)

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方气象台)



■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等活用した情報提供のシステム構築

令和8年5月下旬から運用予定の防災気象情報(警報・注意報)の体系整理に向けた準備(情報名称の変更、警戒レベル4相当情報の新設、洪水関係の情報変更など)。

- 各防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! > -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方気象台)



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

○市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組み・水防資機材等の情報共有

気象防災ワークショップの開催

気象台が日々発表する各種防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し各種防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。(名寄市役所 6/4)

地方公共団体防災担当者向け
気象防災ワークショップ in 名寄市役所
中小河川洪水災害編
令和3年災害対策基本法改正対応版



各グループ内で対応について検討。

本日のスケジュール

時刻	所要時間	実施内容
9:30~ 9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50~ 10:00	10分	オリエンテーション
10:00~ 11:20	80分	現在の状況付与・対策の検討 グループワーク・検討結果発表・解説
11:20~ 11:30	10分	まとめ



各グループ内で検討した内容を発表。

【対策検討】
【グループ検討】2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- 町として、洪水災害に対してどの様なことに備えますか？
⇒ 町では、どのようなことを準備しますか？
⇒ 高齢者等避難（警戒レベル3）を発令するべきか否か。
⇒ どの地域を警戒すべきか？
⇒ 今後、どのような情報を特に注意すべきか？ ……等
- 現在の状況において住民等に伝達すべきことは何か？
⇒ どの様な手段で、どのようなことを伝えるか検討してください。
※上記2点を町長に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で
検討してください。

上川・留萌管内防災連携TVによる気象解説(定時、臨時)

防災連携テレビによる気象解説(定時、臨時)
毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)



定時：木曜日。臨時：警報級の可能性等

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(旭川地方気象台)



■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

○小中学生を中心とした石狩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施（防災教育への積極的な関わり）

1日防災学校への支援

管内の小中学校において、大雨・洪水や地震・津波の仕組、身を守る方法について、講話やクイズ等を実施した。

【東神楽町立東神楽小学校】

日時: 令和7年8月27日(木)

対象: 4年生・6年生



【比布町立比布中央学校】

日時: 令和7年9月5日(金)

対象: 5年生



【中川町立中川中学校】

日時: 令和7年10月10日(金)

対象: 全校生



【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(上川総合振興局)



■ 1日防災学校の企画・支援

■ 市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援

■ 1日防災学校では、ハザードマップ（リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言）や、逃げ遅れの原因となる心理状態（正常性バイアス）等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。

■ 市町村職員に対する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施する各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校
1日防災学校



富良野市
災害対策本部訓練
(住民避難)

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(上川総合振興局)



洪水を河川内で安全に流す対策を実施

■ 過年度から引き続き、剣淵川、マタルクシュケネブチ川等で河道掘削等を推進



剣淵川(和寒町) 施工箇所(河川)



マタルクシュケネブチ川(和寒町) 施工箇所(河川)

【天塩川上流】減災に関する取組の実施予定(上川総合振興局)



洪水を河川内で安全に流す対策を実施

■ 過年度から引き続き、剣淵川、マタルクシュケネブチ川等で河道掘削、堤防整備を推進予定



剣淵川(和寒町) 施工予定箇所(河川)



マタルクシュケネブチ川(和寒町) 施工予定箇所(河川)

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(士別市)



平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 市内小(4校)において防災に係る知識や対応力向上を図るため出前授業を実施した。
- 自治会等の行事において防災講話等を実施し住民の防災知識の周知を図った。(3件)
- 防災イベントにおける関連資材の展示や講話
- 「広報しべつ」において防災に係る特集を掲載し防災意識の高揚を図った。



小中学校出前授業（講話等）



自治会等行事での防災講話



防災イベント（講話の部）



広報しべつ（9月号）特集記事

洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

- 浸水常襲箇所に対応するため、ポンプ2機整備した。



水中ポンプ整備



避難所解説訓練



備蓄物資点検・拡充



豪雨災害対策職員研修

大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組

- 災害時の円滑な対応のため災害対策本部訓練、職員訓練を実施した。
- 主要避難所の備蓄品や避難所開設資材の点検を実施した。
- 石狩川振興財団による豪雨災害対策職員研修に参加した。

【天塩川上流】減災に関する取組予定(士別市)



平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 市内小・中学校において出前授業の開催
- 自治会等の行事において防災講話等を実施
- 防災イベントにおける関連資材の展示や講話
- 「広報しべつ」において防災に係る特集を掲載

洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組

- 雨水貯留設備（釜場）におけるポンプによる排水の一連の作業の要請方法等について確認
- 水害リスクの高い箇所での点検を実施

大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組

- 災害対策本部訓練、職員訓練を開催
- 各種防災研修会の場を活用して、マイタイムライン作成を促進
- 個別避難計画の実効性を高めるため、支援等実施者に対する研修会を開催
- しべつ暮らしナビ（市民アプリ）の普及を図る



画像はイメージです。

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(名寄市)



市民を対象とした防災意識向上を図る取組

■市民を対象とした初の防災イベント、「防災フェスタなよろ2025」を開催し、水害における防災・減災行動について「自ら考え判断できる能力」や「想像力」を身につけることと、関係機関の連携による地域防災力の向上を目的に、関係機関と連携して実施した。

■名寄市防災訓練「防災フェスタなよろ2025」

実施日：令和7年6月21日(土)

場所：名寄市駅前交流プラザ「よろ一な」

参加人数：市民約500人、関係者87人

参加機関：名寄市、名寄河川事務所、旭川地方气象台、名寄消防署、名寄自衛隊、名寄警察署、北海道地域防災マスター、物販業者、名寄市立大学学生ボランティア

実施内容

展示等

- ①備蓄食料、非常持ち出し品、避難所用テントの展示・体験
- ②災害救助システムの展示
- ③気象関連パネル・降雨計の展示、気象映像放映
- ④流域治水、ハザードマップ展示
- ⑤消防車両・装備の展示
- ⑥自衛隊災害派遣車両展示
- ⑦自衛隊活動紹介



屋内の様子



浸水体験

防災体験

- ①野外炊事(体験喫食)
- ②降雨体験、浸水体験
- ③3D土砂災害体験
- ④段ボールベッド・トイレ組立体験
- ⑤応急手当(AED・心肺蘇生)、消火体験



屋外の様子



降雨体験

その他

- ①家庭用備蓄食料・防災グッズの展示・販売
- ②災害対応型自動販売機(電光掲示板付き)の紹介
- ③災害時の衛生用品紹介・体験

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(和寒町)



防災学習に関する取り組みの実施

- 地域住民の防災意識の向上のため、災害への心構えや応急処置について、学習を行いました。
- 中学校で災害時の避難訓練を実施後、マイタイムラインの作成などを行いました。
- 小学校で防災教室を実施し、防災や気象情報などについて、学習の取り組みを実施した。

■ 防災研修会

実施日：令和7年 6月22日
令和7年 7月 6日
令和7年10月26日
場 所：各自治会館

災害についての心構えや応急処置、避難所での生活で使用する可能性がある段ボールベットの組立方法を確認



■ 防災学習

実施日：令和7年9月1日
場 所：公民館 恵み野ホール
対象者：中学生

災害を想定し避難訓練を実施後、マイタイムラインを作成



■ 防災学習（小学校全学年対象）

実施日：令和7年8月29日
令和7年9月 1日
場 所：小学校

災害の種類やハザードマップの見方など学年ごとに違う内容で学習を実施

- 1年生
クイズで防災を学ぶ
- 2年生
防災グッズや災害時の食べ物
- 3年生
119番・災害伝言ダイヤルの仕方
- 4年生
ハザードマップの見方
- 5年生
気象情報の見方、調べ方
- 6年生
避難所について



【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(剣淵町)



防災研修会の実施

- 防災に関わる知識や対応力の向上を図るため、小学校及び中学生を対象に、一日防災学校を開催しました。町で所有している防災物品・防災食の紹介や、緊急時の避難所などについて説明し、児童生徒の防災意識を高めました。
- 2月下旬に自治会長や地域安全部長、社会福祉施設職員、教員、町職員等を対象に地域安全部長等防災研修会を開催予定。防災・減災対策の意識づけを目的とします。

○令和7年度剣淵小学校、中学校一日防災学校

実施日時：小学校 令和7年9月2日（火） 11時25分～12時10分

中学校 令和7年9月18日（木） 14時25分～15時15分

主催者：剣淵町

場所：剣淵小学校、剣淵中学校

参加機関：剣淵町、学校

協力機関：旭川開発建設部

参加人数：小学校4年生20名、中学校全校生徒57名

実施内容：緊急時の避難所、防災物品の紹介、防災についての講演



中学校一日防災学校



小学校一日防災学校



令和6年度地域安全部長等防災研修会

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(下川町)



平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組の実施

■防災に関わる知識や対応力の向上を図るため下川商業高校、下川中学校、下川小学校において出前授業を実施した。

実施日：令和7年9月3日（水）
場 所：下川小学校 体育館
参加者：下川小3～6年生の児童および先生
下川中1・2年生の生徒
下川町役場の防災担当職員
内 容：小中学生合同で、避難所用簡易ベッドの組み立ておよびダンボールトイレの作成等を実施した。



1日防災学校



1日防災学校

実施日：令和7年9月2日（火）
場 所：下川町総合福祉センター
参加者：下川町民
下川町職員
内 容：旭川地方気象台の職員による講話と簡単な図上訓練を行い災害時の避難経路等を確認するとともに防災意識の高揚を図った。



防災イベント

【天塩川上流】減災に関する取組の実施状況(中川町)



平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- 防災訓練、老人クラブ連合会、介護予防事業などの各種行事において防災啓発講話等を実施し、住民の防災意識の向上を図った。
- 名寄河川事務所の協力を得て町立中央小学校の生徒全学年に対する一日防災学校を支援し、水害における防災・減災行動について「自ら考え判断できる能力」を身につけることができた。



中川本町5区町内会
防災訓練(啓発講話)



いきいき教室(住民課事業)
防災啓発講話等



老人クラブ連合会(社協事業)
防災啓発講話



町立中央小学校
(防災ダック、地下浸水体験、マイタイムライン作成等)